



■ 県民の皆様へ

私たちの郷土神奈川には、開港・開国以来、日本の近代化をリードしてきた先進性と素晴らしい技術力があります。また、国際性豊かな横浜や川崎、古都・鎌倉、城下町・小田原、国際観光地・箱根などをはじめとする多くの魅力的な都市があります。さらには、丹沢大山の山並みや湘南海岸の美しいなぎさなど豊かな自然にも恵まれています。そして何より、県民やNPO、企業の皆さんの活力と情熱があふれています。

一方、神奈川を取り巻く社会環境は今、さまざまな分野で大きく変わりつつあります。少子化や高齢化の進行、人口減少社会の到来、産業構造の転換や働き方の多様化、環境問題の新たな展開、子どもや青少年をめぐる問題の深刻化など、取り組むべき課題が山積しています。

こうした課題を解決し、神奈川の明るい確かな未来を築くためには、神奈川の持つ多彩な力「神奈川力」を一層高め、生かしていくことが必要です。そして、新しい時代を切り拓く「先進力」と、県民やNPO、企業など多様な主体と行政とが力を合わせて地域を支える「協働力」によって、神奈川の新たな時代を創造していくことができると確信しています。

県では、こうした考え方を基に、新たな総合計画について、県民や市町村の皆様のご意見を伺いながら、総合計画審議会でご審議をいただき策定作業を進めてまいりました。そして、本年6月の県議会定例会でご議決をいただきまして、「神奈川力構想・基本構想」を策定いたしました。

この「基本構想」では、県民の皆様一人ひとりが生き生きと、心豊かにくらすことのできる確かな地域社会の実現を目指して、概ね20年後の2025（平成37）年を展望した神奈川の望ましい将来像や政策の基本方向をお示ししています。

時代の流れが大きく転換する中で、県民やNPO、企業の皆さん、市町村の方々と力を合わせて「神奈川力」を全開させ、活力ある神奈川、暮らしやすい神奈川をつくり上げてまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成19年7月

神奈川県知事 松沢成文

